

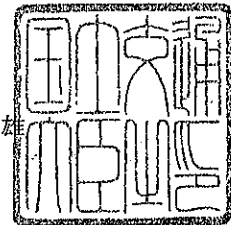


認定書

国住指第388号
平成 17年 5月 18日

グレースジャパン株式会社
代表取締役 加藤 朝男 様
東邦レオ株式会社
取締役事業部長 増田 彰久 様
株式会社ノザワ
取締役社長 野澤 俊也 様
三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役 野田 眞 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号(柱:2時間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP120CN-0191
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
押出成形セメント板／湿式せっこう系吹付け材合成被覆／鋼管柱
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

押出成形セメント板／湿式せつこう系吹付け材合成被覆／鋼管柱

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
鋼管柱	角形鋼管 断面の寸法：□-300×300×9mm以上 又は 丸形鋼管 断面の寸法：上記同断面積以上かつ9mm以上
外壁	厚さ：60mm以上
被覆材	厚さ：45mm以上
外壁と鋼管柱との距離	250mm以下

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
鋼管柱	材料：①～⑥の一 ①一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) ②一般構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3444) ③建築構造用炭素鋼管 (JIS G 3475) ④一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) ⑤溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) ⑥建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) 形状：①又は② ①角形鋼管 ②丸形鋼管
外壁	材料：押出成形セメント板 (JIS A 5441) 厚さ：60mm以上 幅：600mm以下 表面形状：平滑 密度：1.7g/cm ³ 以上 形状：中空板 (図4参照) 目地幅：10±2mm
被覆材	材料：湿式せっこう系吹付け材 組成 せっこう 80±8質量% 発泡スチロール 2±1質量% 木質繊維 4±2質量% 水酸化アルミニウム 6±3質量% アルミナ化合物 6±3質量% 炭酸カルシウム 2±1質量% 厚さ：45mm以上 密度：0.27±0.03g/cm ³

4. 申請仕様の副構成材料

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
目地充てん材	材料：ロックウール (JIS A 9504) 密度：80kg/m ³ 以上
シーリング材	材料：変成シリコーン (JIS A 5758) 充てん量：200g/m
外壁取付材	材料：①、②及び③ ①取付金物：1)、2)及び3) 1) Zクリップ 材質：一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：厚さ 6mm以上 長さ 118mm以上 幅 50mm以上 2) 六角ボルト (JIS B 1180) 寸法：M10×長さ40mm以上 3) 角ナット 材質：一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：厚さ 4.5mm以上 長さ 60mm以上 幅 30mm以上 ②取付受金物 材質：一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 形状寸法：L-50×50×6mm以上 ③取付支持金物 材質：一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 形状寸法：[-75×40×5×7mm以上 取付間隔：900mm以下
メタルラス	材料：平ラス 材質：1)又は2) 1) 熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) 2) 冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) 厚さ：0.3mm以上 単位面積質量：800g/m ² 以上
力骨	材料：鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112) 寸法：φ9mm以上 取付間隔：450mm以下
重量受材	材料：①又は② ①一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 形状寸法：L-50×50×6mm以上 ②なし

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

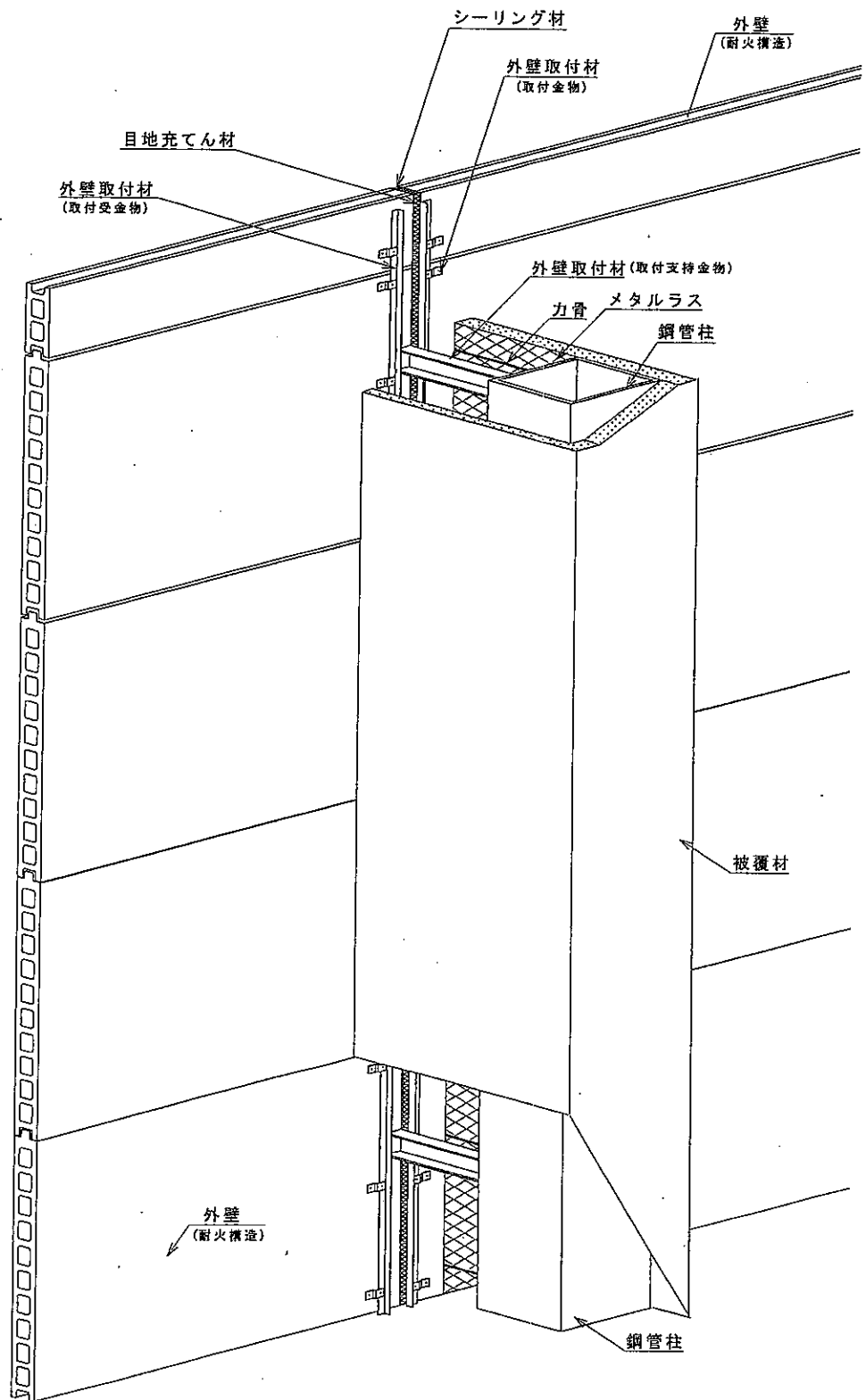
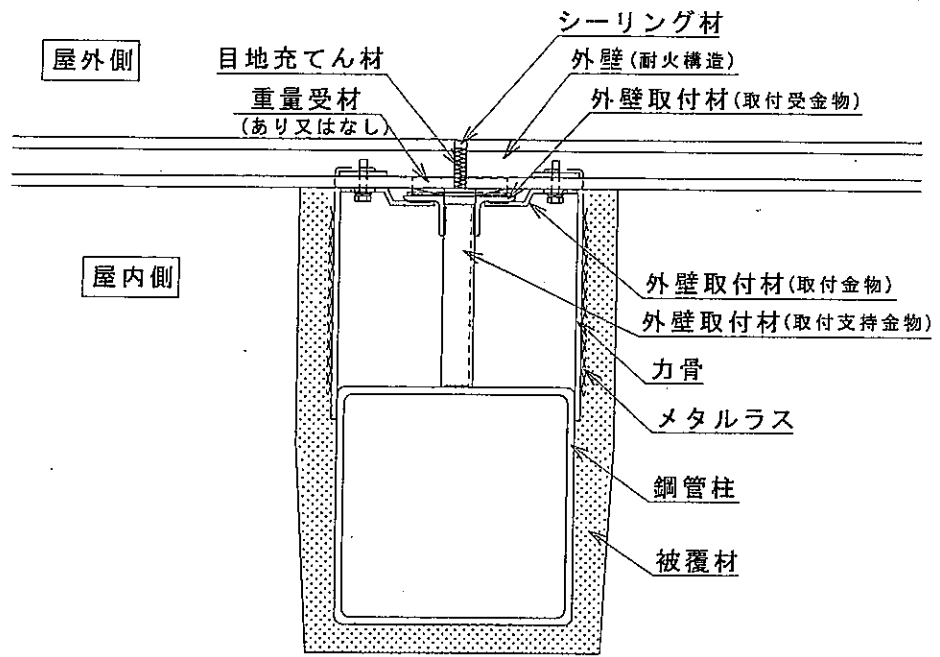
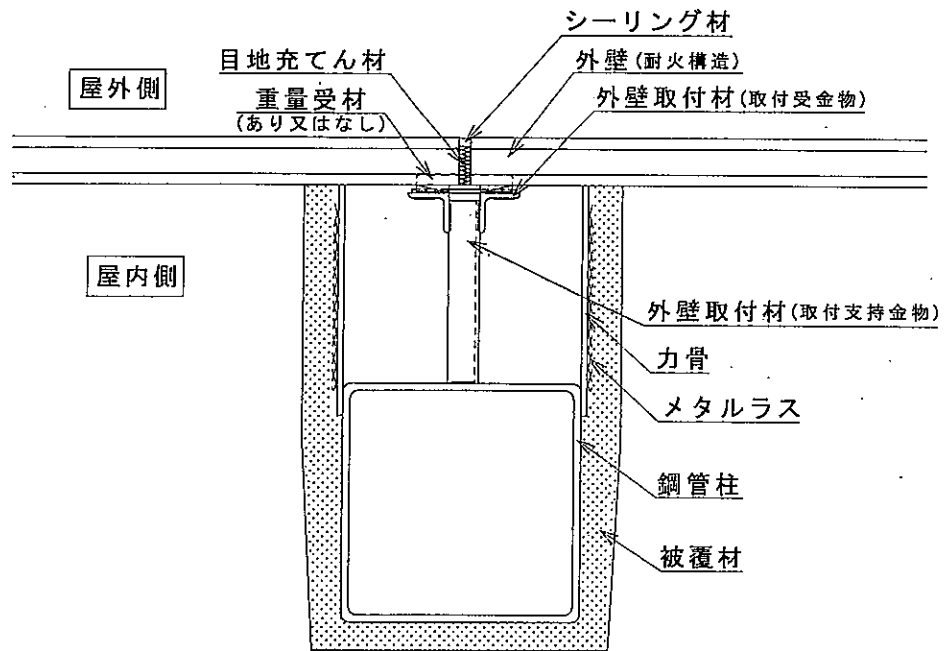


図1 構造説明図

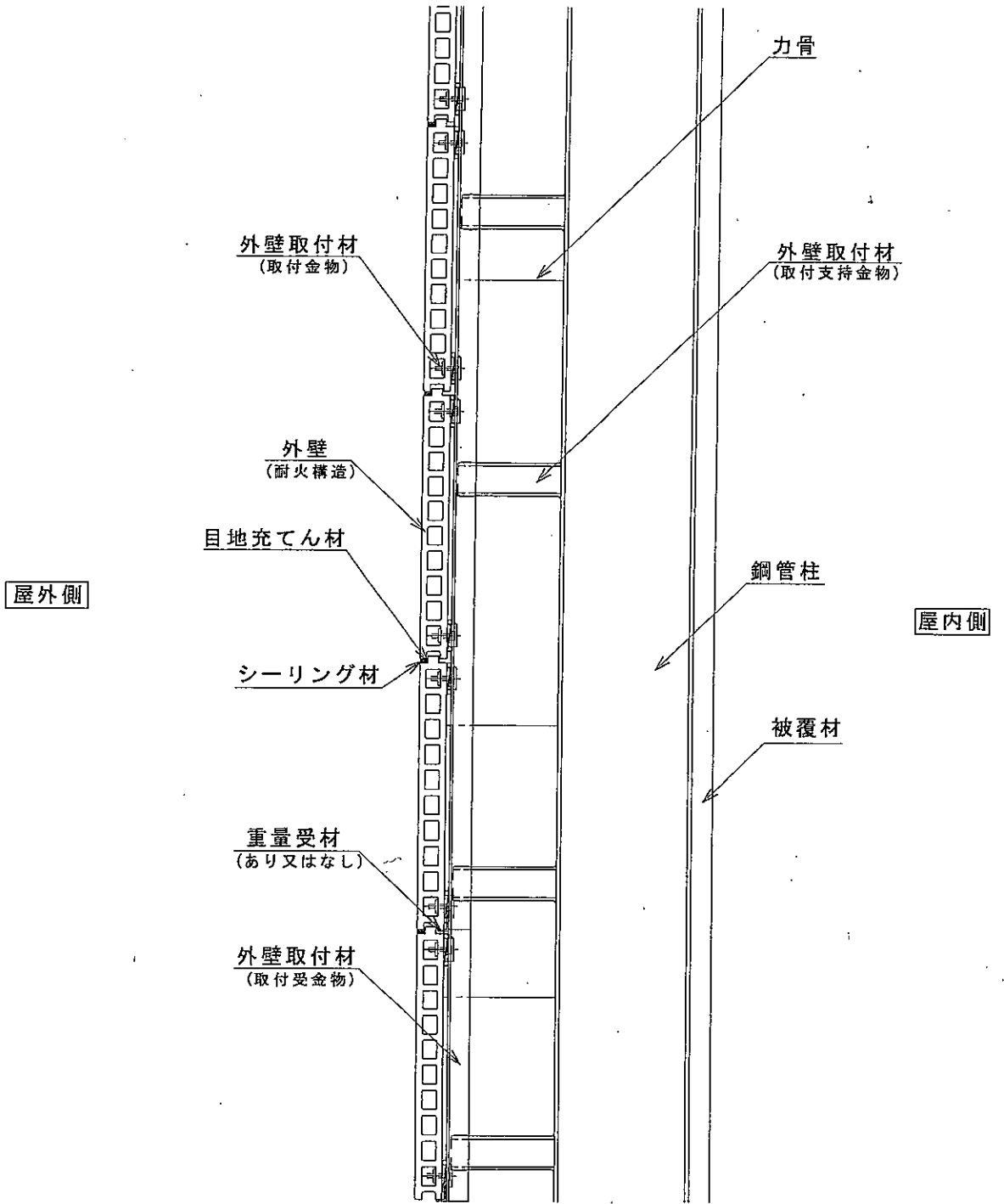


水平断面図(外壁取付部)



水平断面図(一般部)

図2 構造説明図

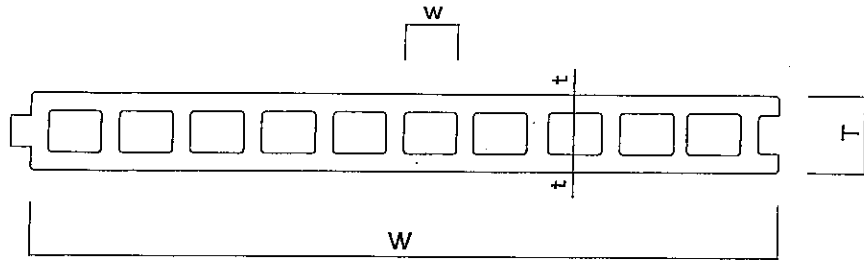


鉛直断面図

図3 構造説明図

外壁の形状・寸法

単位 mm

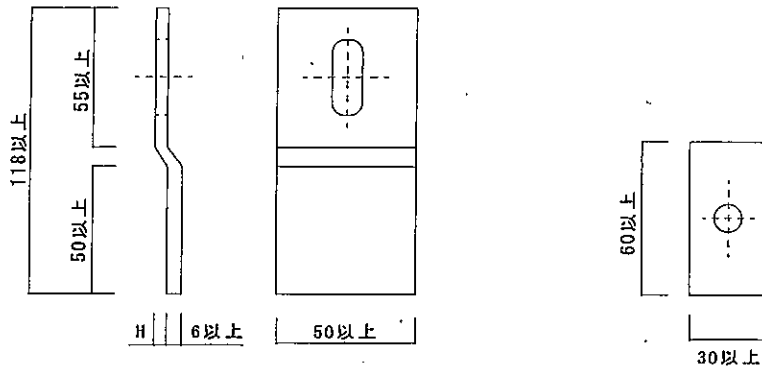


外壁断面詳細図

外壁の詳細寸法

項目	寸法	許容範囲
厚さ(T)	60以上	±1.5
肉厚(t)	14以上	±1.0
長さ	6000以下	+0、-2
幅(W)	600以下	+0、-1
中空幅(w)	70以下	+0、-1

取付金物



H: 取付受金物の厚さ以上(6以上)

Zクリップ

角ナット

取付金物詳細図

外壁及び取付金物詳細図

図4 構造説明図

6. 施工方法

施工図を図5に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 外壁（押出成形セメント板）工事

- 1) 外壁を鋼管柱の外側に建込み、取付金物を用い固定する。
- 2) 外壁の目地部には、目地充てん材を挿入し、表面にはシーリング材を充てんする。

(2) 被覆材

1) 吹付け装置

施工機械には、原料混練機、圧送ポンプ、金属又はゴム等の可撓性ホース、エアホース及び吹付けノズルから構成される吹付け装置本体、並びに必要に応じて接続される硬化促進材注入機を使用する。

2) 吹付け下地処理

吹付けに先立ち、鉄骨下地表面を、浮きさび及び油の付着等がないよう十分に清掃する。

3) 混練

材料を混練機に投入、清水を材料に対し重量比で125～165%の割合で加え、混練する。

4) 吹付け

吹付け作業時まで圧送された材料を、吹付けノズル先端から3kg/cm²程度の空気圧によって、鉄骨下地に対して均一な厚みが確保できるように吹付ける。一回目の吹付け厚は15mm程度とし、下吹きが硬化した後、所定の厚み(45mm以上)に追吹きする。

(3) 養生

1) 施工前

吹付けにより材料が周囲に飛散するのを防止するために、シート等で養生する。

2) 施工後

吹付け作業を完了した部分が、衝撃及び雨水等によって障害を受けないように、適切な養生を行う。

3) 寒冷時

寒冷時には嚴重な凍結防止対策養生を行う。

4) 仕上

吹付け仕上げ又は、コテ仕上げとする。

留意事項

- (1) せっこう系であるので、建物外部には施工しない。
- (2) 気温が5℃以下の場合は施工を避ける。
- (3) 材料の運搬及び保管に当っては、雨、湿気等の影響を受けないように留意する。

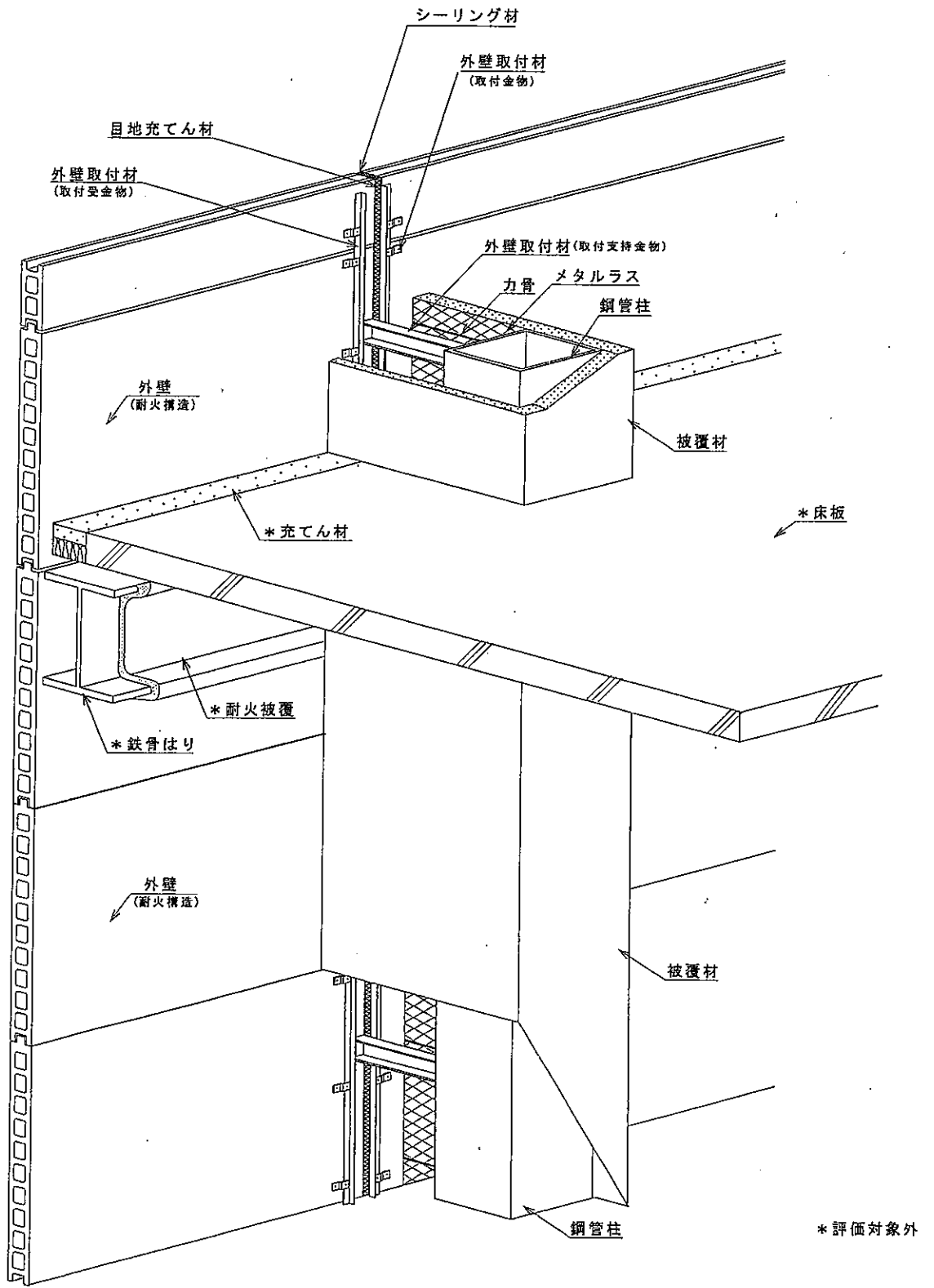


図5 施工図